

Step UP!

2014年 10月22日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 8

編集責任者 情 宣 部

2014年年末手当

第2回交渉報告 会社

中央本部は10月22日の午前10時から「2014年度年末手当第2回交渉」を行い、会社から現在の収入動向について説明を受けました。

《収入動向》

- ①上期で、消費増税の駆け込み需要の反動は想定より少ない。計画とほぼ一致している。
- ②18億の計画未達は東海道線の土砂崩れの影響である。この影響は大きく厳しい水準だが、計画達成は出来ないことではない。また、今回と同じような危険箇所がないかチェックするように旅客会社に要請している。
- ③大きな柱としてトップセールスを行っており、新規に荷主を100社程リストアップして、まだまだ収入確保の伸び代はある。
- ④モーダルシフトの流れを活かして収入拡大に邁進している。ご協力をお願いします。

《関連事業》

- ①約6億円の収入改善目標としている。約5億円は見込みがあるが、1億円は相当な努力が必要である。
- ②茅ヶ崎社宅、岐阜社宅、久留米、神戸港の土地貸しを検討している。

組合

- ①組合員は会社の言う事に必死で応えて仕事をこなして、土砂災害の挽回輸送についても前回述べた通り頑張ってきた、これに対して具体的な形で示すべき。計画に手が届きそうと言うからには期待する。
- ②政策発表会などでも具体的に新規荷主の案件を提示するなど、組合員は収入拡大に向けて日夜努力している。その声にも会社としても耳を傾けてほしい。
- ③収入拡大に向けて我々も汗を流すが、それ以上に経営陣の努力が必要である。

最後に、回答指定日にこだわり、会社は我々の要求を受け止める事を確認し、第二回交渉を終えました。

**自然災害が発生しても我々は必死に
鉄道貨物輸送を担ってきた!!
経営陣はこの苦勞に報い、責任を果たすべきだ!!**